

保護者の皆さんに、お子さんの成長に関するアンケートの結果をお知らせします

2学期の「お子さんの成長に関するアンケート」にご協力いただきました。同時期に行った児童アンケートとともに、斐太北小学校の子どもたちの成長の様子について、報告します。お子さんの様子と照らし合わせながらご覧いただき、今後も保護者の皆さんと学校職員が「共に」お子さんを育てていくことができるよう、ご支援をお願いします。

児童アンケートの結果

質 問 項 目	肯定的回答%	
	1学期末	2学期末
学校は楽しいですか。	97.1	95.6
学習はよく分かりましたか。	95.6	95.6
自分に必要な学習を選んで行うことができましたか。	92.6	88.2↓
自分のまわりの人やものと仲良くしながら、最後までがんばれましたか。 (下学年)	97.1	94.1↓
いろいろな人やものとのつながりを大切にしながら、自分の考えを深めたり 広げたりすることができましたか。(上学年)		
いろいろな学年の友達と仲良く遊びましたか。	91.2	94.1↑
友達や先生、お客様に進んで元気なあいさつをしていますか。 登下校中に会った人に、自分から進んであいさつをしていますか。	92.6	91.2
生活目標や学習で自分が決めたためあてに向かって取り組みましたか。	100	98.5
自分の好きなことや得意なことを書きましょう。	100	100
体育の授業で、楽しく運動していますか。 体育以外の時間も進んで運動していますか。	92.6	95.6↑
元気に過ごすために、早寝早起きをしたり、朝ご飯をしっかり食べたり していますか。	92.6	95.6↑
メディアのきまりについて、お家の人と学期に1回は話し合っていますか。	67.6	76.5↑

保護者アンケートの結果

質 問 項 目	肯定的回答%	
	1学期末	2学期末
お子さんは楽しそうに学校に通っていますか。	91.0	93.9↑
お子さんは、学習の内容を理解できていますか。	92.5	92.4
【1学期末】お子さんは、宿題や自分に必要な学習を、目安の時間取り 組んでいますか。(低学年 20～30分、中学年 30～40分、高学年 50～60分)	79.1	71.2↓

【2 学期末】お子さんは、宿題や自分に必要な学習を考えて取り組んでいますか。		
お子さんはいろいろな人に進んであいさつをしていますか。	73.1	65.2↓
家庭学習や生活の場面で、お子さんは自分でめあてを決めて取り組んでいますか。	65.7	66.7
お子さんが好きなことや得意なことを話題にして、お子さんと話をしていますか。	98.5	98.5
お子さんは進んで運動をしていますか。	77.6	75.8
お子さんは、規則正しい生活をしていますか。	89.6	86.4↓
メディアのきまりについて、お子さんと学期に 1 回は話し合っていますか。	68.7	81.8↑

「学び」を育てる

- 学校生活の楽しさや学習理解度、みらい学習について、児童、保護者ともに肯定的評価は 90%以上を維持し、学校生活や学習に安定して取り組めていたことが確認できました。
- △ 2 学期から、斐太北型イエナプラン教育を授業に取り入れ、内容や方法を自己選択しながら学習を進める取組を始めました。併せて、家庭学習も児童が自分に必要な学習を考え、自分で決めて取り組む方針に徐々に変更し、実践してきました。そのため、保護者向けの家庭学習についての評価項目も、時間から内容を問うものに変更しました。児童は取り組みに慣れつつありますが、まだ初期段階であるため、何にどのくらい取り組んだらいいのか、自分の選択や学習方法でよかったのか、悩む児童もいます。そんなお子さんの様子をご覧になっている保護者の中には、斐太北型イエナプラン教育が子どもに合っているのか、不安に感じる方もおられることが分かりました。

3 学期は次の取組を行います

- ・ 斐太北型イエナプラン教育を 3 学期の授業にも取り入れていきます。2 学期の取組から得られた成果や課題をもとに改善を図りながら、実践していきます。
- ・ 今年度の斐太北型イエナプラン教育の実践は、来年度の教育活動にも生かしていきます。

「心」を育てる

- 仲良く活動することの評価項目は、児童の肯定的評価がさらに高まりました。生活目標と関連した社会性を高める取組等の成果を確認することができました。
- ・ 自分が決めためあてへの取組について、児童の肯定的評価は多少低下しましたが、保護者の評価は上昇しました。自己選択式の家庭学習などでお子さんの前向きな取組に対して、評価が高まったのではないかと考えています。
- △ あいさつについての肯定的評価が、児童、保護者ともに低下しました。また、児童と保護者の意識に見られていた差がさらに広がりました。児童には、自分がどんな挨拶をしているのか客観的に振り返る視点を与え、振り返ったり改善すべき点を考えさせたりしていく必要があると考えています。

3 学期は次の取組を行います

- ・あいさつや生活目標への取組を自分事としていくために、自分の現状を振り返り、自発的な目標を立てて実践する、そして再度振り返るといったサイクルを教育活動に位置付けていきます。
- ・児童の人間関係づくりや社会性向上のために、フレンド班活動をより効果的に行えるよう、検討していきます。

「体」を育てる

○メディアのきまりについて、親子で話し合う機会をつくっていただけたことが伺え、ありがたく感じています。今後も、定期的にきまりを確認したり、メディアとのかかわりを振り返ったりする時間をつくっていくことが大切だと考えています。

△「進んで体を動かしている」「規則正しい生活をしている」との肯定的評価は、児童と保護者間でさらに差が広がりました。冬期間でさらに体を動かす機会が減ることが心配されます。また、適切な生活リズムについて、親子で共通理解を図る必要性があることが伺えました。

3学期は次の取組を行います

- ・1月下旬に第2回目のリズムづくりチャレンジを行います。メディア利用の現状やきまりを振り返る機会にしてほしいと考えています。また、「何時に起きるか」「何時に寝るか」といった適切な生活リズムについても、親子で確認し合う場にしてください。
- ・健康委員会の活動とタイアップし、体づくりに取り組む時間を設定します。子どもたちが楽しみながら運動し、体力を高められるよう工夫していきます。

保護者の皆さんの自由記述から

学校評価（自由記述）への記入、ありがとうございました。保護者アンケートの記述は、ほぼ原文のままで載せていますが、個人情報 を考慮し、一部修正しております。ご了承ください。

学校での学習、生活について

- ・低学年での自主学習計画は、本人任せだと楽な方へ向かう傾向があり得ると思います。学校で助力頂き、その上での自主学習が必要なのではないのでしょうか？
- ・学校生活において例年からの変更点が多く、子どもが戸惑っている様子が見られます。少し不安も感じているようです。可能でしたら、もう少しゆるやかに進めていただけると助かります。
(学校より)

創立150周年記念事業、斐太北型イエナプラン教育の導入など、今年度新しく取り組んだことが多々ありました。お子さんによっては、戸惑いや不安を感じたかもしれません。家庭学習においても、自分に必要な学習を自分で考えて行うという取組は、初めはうまく進めることができなかった子も、徐々に自分なりに課題を選んだり、計画的に進めたりすることができるようになってきています。

これまでの取組の成果と課題をもとに、3学期や来年度の斐太北型イエナプラン教育の在り方を検討していきます。その際は、学年の発達段階や個々の特性を考慮し、必要に応じて個別の相談や指導を行っていきます。

・感染症の時期の予防啓発をもう少し早めに対応いただけるとありがたいです。例えばマスクをしていない子に声をかけるということは、その後の関係性を気にしてできない子もいると思うので、早めに全体への声かけをしていただくことで子どもの心配も減ると思います。

(学校より)

2 学期は早い時期から感染症が流行し、ご心配をおかけしました。これまでも、市内の流行状況など情報が入り次第、児童や家庭にも注意喚起を行ってきました。今後も、状況に応じて、マスク着用を全体に呼びかけるなどの積極的な感染防止対策を行っていきます。

行事関係について

・音楽発表会

市の音楽祭が無くなってしまい、子ども達の歌の発表を聴ける場がないのが残念。学校で、音楽会があると嬉しい。勉強、運動、絵などと同様に音楽が得意な子どももいると思うので、得意な事を活かす行事があると良いと思う。

(学校より)

今年度で妙高市小中特別支援学校音楽発表会が終了となったことを、残念に感じている子どもたちや保護者の皆さんがいらっしゃると思います。5・6年生の児童にとっては、音楽をつくり上げ、心を一つにして奏でていく場として、貴重な行事の一つでした。今後はそういった音楽活動をどのように行っていくのか、来年度に向けて検討していきます。

・マラソン記録会

マラソン記録会は自分との戦い(秒数にこだわる)なのでしたら、今後は順位は無くしても良いかと思いました。(こどもたち次第ですが)秒数を大きな声でカウントダウンしてくださっていたので分かりやすく、記録に挑戦しやすかったと思います。

(学校より)

マラソン記録会では、保護者の皆さんからたくさんのあたたかいご声援をいただき、ありがとうございました。「記録会」の名のもと、自身の記録更新を目指して練習に取り組んできた、その成果が発揮された日となりました。いただいたご意見をもとに、子どもたちが自分と向き合い、成長を実感できる記録会となるよう、来年度の実施方法を検討していきます。

・尺八コンサート

日頃より先生方には子供達をよく見守って頂きありがたく感じています。先日の尺八コンサートのことを何気なく子供と話していたのですが「学年ごとに1曲ずつ尺八の先生とセッションしたんだよ」と聞いて、私が想像していたよりずっとボリュームのありそうなコンサートだな～と感じました。「演奏を聴いて終わり」ではなく子供達も参加しながら楽しめるのが良いですね!ちょっと聴きに行きたいな～と思うほどでした。

(学校より)

地域の尺八奏者早津さんからお越しいただいての尺八コンサートは、本年で3年目となりました。来年度以降の予定はまだ決まっていますが、子どもたちにとって「本物に触れる」機会は今後もつくりたいと考えています。その際は、保護者の皆さんのご参加も大歓迎です。今年同様、事前にお知らせし

ます。

修学旅行

・修学旅行がとても有意義で楽しかったと言っていました。みらい学習で学んだことをたくさんの人に伝えられてうれしかったようです。学校での熱心な取り組みに感謝しています。

(学校より)

充実した修学旅行となったようで、とても安心しました。今年度の6年生は、みらい学習で、ふるさと妙高のよさを4月から問い直してきました。そして、自分の中で再確認した妙高のよさを北陸のたくさんの人々に伝えてくることができました。来年度も、みらい学習の学びの先に修学旅行を見据え、活動をつくり上げていきたいと考えています。保護者の皆さんからも広くご意見をいただけるとありがたいです。

登下校時の校地内での交通制限のお願い



児童の登下校時に、自家用車での送迎される場合があります。校地内の車道は幅が狭く、児童が歩行の際に自動車による接触事故が起きる恐れがあります。つきましては、上図に従い、校地内の車道は、基本一方通行とさせていただきます。また、**駐車の際は、グラウンド側一列に縦列でお願いします。**児童の安全確保のためにご理解とご協力をお願いいたします。お子さんの送迎をされる他のご家族様への周知も併せてお願いいたします。